

課題の流れ（文章）

1. 臨床教育者（CE）からみた実習の目標設定（事前検討のお願い）

各施設において学生に経験して欲しい中枢となる目標を設定し、計画を立てて頂く。

（例：メインとなる症例の提示、学生に経験して欲しいことや経験出来ることの提示など）

2. 目標設定（デイリーノートへ記入）

- ・長期目標→実習全体を通して、どのようになりたいのか、何を達成したいのか。（学院実習目標）
- ・短期目標→1週間毎に目標を設定。（CE と話し合って設定）
- ・行動目標→短期目標達成のため、1日の具体的な行動目標を設定。（学生自身の課題をもとに設定）

3. 計画

- ・CE が立てた目標（計画）と学生の目標を合わせ、目標が妥当か検討し、合意した目標を決定する。
例：長期目標を踏まえ、短期目標（1週間毎）を立てる。

短期目標が達成できる計画を立て、毎日の行動目標を立てる。（計画）

長期目標から短期目標、毎日の行動目標までが連動的であり実現可能かを CE と学生共に検討する。

4. 実行

- ・学生は計画を実行するための準備を行う。（自宅学習、実技練習など）
- ・準備したことを CE と確認（模倣）
- ・実行へと繋げる（実施）

5. 結果の確認→できるだけ毎日確認して頂く。

- ・結果どうだったのか？何が足りなかったのか、何がよかったのか？
→ 自己分析し CE とディスカッションしていく。 → そして自己課題を明確にする。

6. 今後の目標と計画の再考→できるだけ毎日確認して頂く。（少なくとも週末には実施）

- ・分析結果から今後の目標の再検討、計画の練り直しを実施。
→ 自己の課題を明確にし、次の目標設定に繋げる。

7. ケースノート

- ・CE 担当症例からメイン症例を選定し、経過を詳細に記録。
- ・全体像把握に繋がるよう情報を適宜収集する。

8. 自己学習

- ・実習の中での疑問、CE からの指摘事項の中で、学習すべきことを自覚し主体的に学習していくこと。

『課題の進め方』

学生

臨床教育者 (CE)

実習前：目標の設定

長期目標の設定

- ・実習を通してどうなりたいか、何を達成したいか (プロフィールに記載)

実習で達成して欲しいことを事前に検討

- ・学生に経験してほしい症例など (疾患・症状・評価…)

実習開始：オリエンテーションと目標設定

①オリエンテーションの実施 (初日)

- 施設の概要や特徴を伝える
- 施設のスケジュールを伝える
- 実習期間の計画について説明

②長期目標の設定 (初日)

- 学生が立てた目標にCEの考えた目標を考慮し、適切な目標を設定する

③短期目標の設定 (毎週) → 学生のみで設定出来るまでは一緒に設定する

長期目標の達成のために必要なことを1週間毎の短期目標として設定する

④1日の行動目標の設定 (毎朝) → 学生のみで設定出来るまでは一緒に設定する

短期目標を達成するために必要な具体的行動を挙げる

実習中

1日の行動目標を実施する

CEは必要に応じて導く

フィードバック (毎夕)：目標達成度の確認と再検討

- ・1日を通しての振り返り
- ・当日の行動目標について達成度の確認
- ・翌日の行動目標とそれに必要な準備の確認

課題取り組み (毎日)

①デイリー記録

②ケースノート記録 (別紙参照)

③必要な自己学習

④翌日に向けた準備

※これらをファイルし、ポートフォリオを作成

課題提出と当日の行動目標の確認 (翌朝)

- ・デイリーの確認と共に、当日の行動目標を再確認し、実習開始

1週間毎に短期目標の達成度を確認・反省 (週末)

- ・短期目標の達成度を共に確認し、良かった点悪かった点を確認 (課題の抽出)
- ・次週の目標設定を実施 (課題の反映)